

アクションプランの主な変更点

資料3

| P | 変更箇所 | 変更前 | 変更後 | 備考 |
|---|----------------------------------|-------------------------|--|--|
| 1 | 第1章 1 策定の背景及び 2 目的 | 「1 策定の背景」と「2 目的」がそれぞれ独立 | 「1 策定の背景」と「2 目的」を合体し、記載内容も合体。 | 背景と目的で意味が重複しているため、よりわかりやすく改変。 以下の番号が1つずつ繰り上げ。 |
| 2 | 第1章 4 本計画期間 | — | 期間中間年での見直し、検証の文言を追記。 | — |
| 2 | 第1章 6 施設の方向性と取組 | — | 「機能」と「建物」の区別と考え方をより詳細に記載。 | 公共施設適正配置マネジメント方針に拠る。 |
| 3 | 第1章 対象建物一覧 | — | 面積の修正、廃止済施設の削除(旧勤労者研修センター、米多比児童館、りん)、新設施設の追加(青柳児童センター) | 行政財産から普通財産になったものを削除。 |
| 5 | 第2章 1 公共施設等の全体基本方針 | — | 章の名称及びタイトル変更。ステップ化することで検討の順序を説明。 更に機能の分類についての説明を追記。 | 公共施設適正配置マネジメント方針に拠る。 |
| 6 | 第2章 2 長寿命化による使用目標年数 | — | 機能提供の具体策の種類を掲載 | 公共施設適正配置マネジメント方針に拠る。 |
| 7 | 第2章 3 ステップ3(建物方針)【新設】 | — | 建物の再整備方針の種類を掲載 | 公共施設適正配置マネジメント方針に拠る。 |
| 9 | 第2章 3 点検、4 改修等の周期の考え方、5 優先順位の考え方 | — | 削除 | 機能提供の具体策、建物の再整備方針で記載済。 |

| P | 変更箇所 | 変更前 | 変更後 | 備考 |
|-----|--------------------------------------|-----------|---|---|
| 11 | 第3章 1 対象公共施設等の長期的な展望 | — | 章の名称変更、記載内容削除。番号繰り上げ。 | 第1章及び第2章で記載済。 |
| 13～ | 第3章 2 アクションプラン期間における施設分類ごとの個別施設の基本計画 | 第3章-2-各施設 | <p>各施設を章の直下へ移動。</p> <p>①対象施設の表を新しい表へ置き換え(名称、機能維持の方針、機能提供の具体策、建物方針、面積、建築年度、耐震性、避難所)。所管課の項目削除。</p> <p>進捗状況管理表に基づき記載内容更新。面積も現状に合わせて更新、微修正。新設施設の面積を計上し、廃止施設の面積はゼロで計上。</p> <p>③今後10年間の方向性を削除。「機能」と「建物」は新表へ。年度の表は削除。</p> <p>④各施設の取組を進捗状況管理表に基づき更新し修正。</p> | <p>各施設の面積は令和6年度決算資料(令和5年度末時点固定資産台帳)と合わせることで整合性をとった。</p> <p>④「各施設の取組」については、各課へ照会をした進捗状況確認シートの記載内容と整合性をとった。</p> |